

北海道に貢献する意欲のある若者の海外挑戦を、官民一体で応援する「ほっかいどう未来チャレンジ基金」。第1期生の1月の海外での挑戦の様子などについて、お届けします！現在は4名が帰国し6名が留学中！

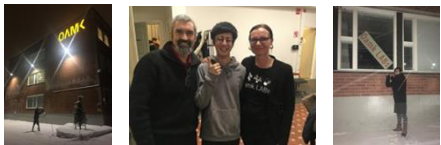
## 学生留学コース

**坂上 涼一 さん (北海道情報大学) フィンランド**  
～ICT先進国で学び 観光アプリを開発～

多様化した観光ニーズに対応する、高度なIT技術を学ぶため8月から5か月間留学し、1月に帰国。

留学期間を振り返り、商品化を目指した実践的なアプリ開発コンテストを通して、起業の際に役立つビジネスプラン作成や市場への公開ノウハウを学ぶことができたことを実感しています。海外の目線で日本を見ることの大切さも実感できた貴重な経験でした。

この経験を生かして、今後北海道の観光産業を盛り上げて行きたいです。

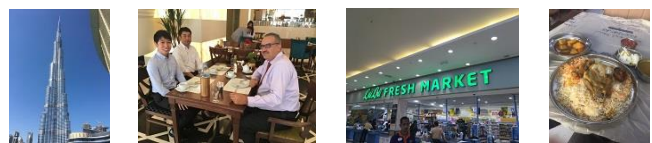


**中川 峻貴 さん (北海学園大学)**  
マレーシア、インドネシア、UAE  
～ハラール食の現地調査で道内企業と海外の架け橋に～

ハラールについて学ぶためマレーシア等3カ国へ8月から6か月間の留学中。

1月は、アラブ首長国連邦(UAE)でドバイを中心に企業訪問調査を実施しました。

品目による輸出時のハラール認証の区別や、製造現場や物流における監査の有無など、東南アジアのマレーシア、インドネシアとは取扱いに異なる点が多く、一ヶ国ずつ市場調査を行う必要性をあらためて感じることができました。

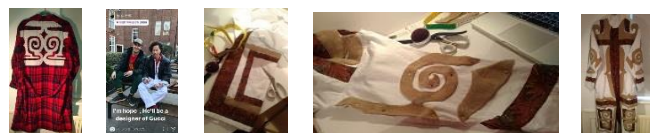


**福沢 大貴 さん (北星学園大学) イギリス**  
～アイヌ文様を発信しアイヌファッションの逆輸入を～

ファッションを通して、アイヌ文様を世界に発信し、逆輸入することを目指して、9月から5か月間の留学中。

1月は、アイヌ文様を活かしたファッションの個人展示会の実現のため、文様に合うような生地、柄を探したり、服飾のデザインを考えたりと、ずっと服作りを行ってきました。

ファッションの地であるロンドンで最先端を取り入れるのではなく、イギリスの伝統を重んじる観念とアイヌ文化の自然との共存をファッションに実現させたいと思います。残る期間は少ないですが、全力で取り組みたいと思います。



## スポーツコース

**齊藤 雄大 さん アメリカ (テキサス州・アラバマ州)**  
～先進地に学び、道内に障がい者スポーツの拠点を～

障がい者スポーツ先進国で8月から1年間研修中。

1月は、アメリカ車椅子バスケットボール大学リーグのチーム遠征に帯同。荷物運搬等の補助や試合運営を担当。

大会への帯同を通して、学生団体が組織的に大会を運営していることや全チーム招待制で、そのための資金調達も学生団体が自ら行っていることに驚きと学びを得ました。

アメリカに来てから、約半年を迎えようとしています。引き続き、多くのことを吸収できるように頑張ります！

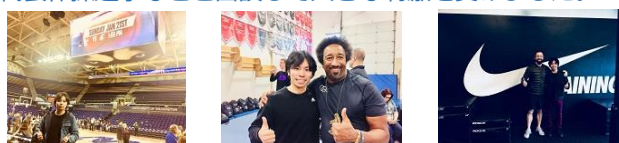


**廣田 修平 さん アメリカ (オレゴン州)**  
～先進のジュニア育成方法を学び、道産子オリンピックを～

体操競技のジュニア育成システムの先進地で11月末から4か月の研修中。

1～4月は米国の体操シーズンです。ワシントン大学でのジュニア大会視察など、多くの大会運営を視察することができました。団体が競技会を主催することで活動資金の調達を兼ねる仕組みや、競技会の運営や進行のシステムなどを学べる貴重な機会を得ました。

また、スタンフォード大学にコーチング留学中の元日本代表体操選手などと面談して大きな刺激を受けました。



**山 あずさ さん ニュージーランド (ハミルトン)**  
～本場でラグビーを学び、道内女子ラグビーの発展に貢献～

ラグビーの本場で11月から1年間、強豪クラブで自らプレーしながらコーチングを修得中。

1月はシーズンオフのため、タッチラグビーや7人制が中心です。平日夕方の練習には、男性も女性も、子どもから大人まで沢山の人が集まります。

ハミルトンで開催された女子7人制の国内大学の大会で、地元ワイカト大学チームに参加し、見事優勝しました(しかも決勝はTVでいつも見ていた憧れのグラウンド！)。

2月はよいよ15人制のシーズンが始まります！



# 文化芸術コース

## 西野 留以 さん アメリカ (カリフォルニア州)

～ダンスを通して北海道を明るく元気に～

世界の様々なジャンルのダンスやスタジオ・ステージ構成を学ぶため、1月から3か月の研修を開始中。

1月に渡米した翌日にはレッスンを開始。ダンス業界で活躍中のベテラン、有名アーティストのバックダンサーなど多様な先生達が様々なジャンルでレッスンをを行います。

体づくりから教え、筋肉が震えて歩いて帰れないくらいキツイ時もありますが、センターにピックアップされるなど嬉しいこともありました。熱意を切らず頑張ります！



# 未来の匠コース

## 古里 裕之 さん フランス

～本場フランスで研鑽を積み、道産ジビエ料理に革新を～

本場フランスのレストランで7月から6か月間の研修を終え、1月に帰国。

出発当初、自分が思い描いた以上のフランスを見ることができました。酸の追求についても、酸以上に発酵からの変化、熟成や自然の力、新たな発見をしました。

帰国後は、フランスで出会った方々との繋がりを大切に、より北海道を考え、ジビエなど独自の北海道料理を作り上げ、北海道の力になっていきたいと思えます。



# フォローアップ

## 高橋 宗一郎 さん (酪農学園大学)

～ワイン酵母を研究し道産ワイン産業に貢献～

昨年12月に帰国した高橋さんが、1/18に道主催のワインアカデミーで約30名の受講生の前で、イタリアの大学でのワイン研究の潮流などの講義を行いました。

みらチャレ事務局では、海外挑戦を行った方々の帰国後の活躍や定着に向けたフォローアップに重点を置いており、今後も産学官が連携して取り組みます。



# 第2期生 H30.4 募集開始 問合せ随時対応中です



# 応援パートナーの皆様

(平成30年2月現在・敬称略)



有末 真哉 遠藤 光二 武田 孝 (拓殖工業(株)代表取締役会長) 船津 秀樹

## 古本募金による寄附を受け付けています。



応援パートナー「NORTH CREATE」様のご協力により、ご家庭や会社で不要になった本等を寄附することで、その査定額全額が基金に寄附され、若者の支援に繋がる「古本募金ハピぼん」の取組を行っています。

個人での参加はもちろん、企業単位での参加も可能ですので、ハピぼんホームページをご覧ください。基金事務局までご一報ください。(これまでの寄附 350人の方から2,629冊)

北海道総合政策部政策局総合教育推進室

TEL : 011-206-7380 (直通) FAX : 011-232-6313

E-mail : mirai.jinzai@pref.hokkaido.lg.jp

ホームページ : <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/sky/mirai-jinzai.htm>



第1期生のチャレンジ風景をお届けします。

